

みんなで Enjoy♪ スキー教室

1月28日～30日にかけて、スキー教室が実施されました。記録的な暖冬の影響で、活動場所やスケジュールを大幅に変更しての実施となりましたが、実りある3日間となりました。

スキー教室は、生徒の技能レベルに合わせたグループでレッスンが展開され、スキー経験の有無を問わず、どの生徒も上達を実感し、達成感を感じることができる行事です。この行事を通して、生徒たちはどんなことを感じ、学んだのでしょうか。生徒の感想の一部を紹介します。

「転ぶのを怖がらないで滑ろう」という先生の言葉で自分が転ぶことを怖がって滑っていることに気づき、改善しようと努力しました。

予定していたスキー場ではありませんでしたが、とても楽しいスキー教室でした。来年はアルツで滑りたいです。

1年 會田 智陽 (福島市立庭坂小学校出身)



ホテルで一番素晴らしいと思ったのはスタッフさんの笑顔です。お出迎えやレストラン、様々な場面で、常に笑顔で接してくれました。どんな時でも、どんなことがあっても笑顔で対応してくださるスタッフさんを見習っていきたいと思いました。

2年 熊倉 愛子 (伊達市立掛田小学校出身)



夜の学習講義は環境問題について考える機会となりました。このまま私たちが何も考えずに過ごしたら、地球温暖化の影響でスキーもできなくなってしまうかもしれません。そんなことにならないように、自分一人でも二酸化炭素を少しでも減らす努力をしていきたいと思ひます。

1年 熊田 空 (郡山市立高倉小学校出身)



滑り始めたときは体重移動が不安定で何度も転んでしまいました。しかしその後も挑戦を続けた結果、転ぶ回数も減り、パラレルターンもだんだんできるようになりました。この経験を通し、「練習すれば何でも上手になることができる!」と改めて感じました。

1年 阿美 豪 (福島大学附属小学校出身)



帰りの用意をしながら、早く家に帰りたいたいと思ひましたが、「もう何日かここでスキーをやっていたい…」という名残惜しさもありました。今回のスキー教室で教わった事を忘れずに、次回スキーをするときに難しいコースや技にも挑戦してみたいと思ひました。

2年 小島 瑠斗 (伊達郡国見町立国見小学校出身)

スキー教室は前から楽しみにしていたので中止にならないか心配でしたが無事に実施できて良かったです。たくさん滑っていくうちにだんだん怖さが消えて楽しいと感じました。上達することはスキーが楽しく思えることに関係していると感じました。

1年 菅野 はるか (福島市立福島第一小学校出身)



スキー技術論で、自分の滑りを動画で確認しました。上手な人と比較すると姿勢や体重のかけ方が明らかに違っていました。2日目は上手な人のまねをして滑ってみると今までよりきれいに滑れた気がしました。また、苦手だった斜面もクリアでき、上達を実感することができました。

2年 佐藤 美桜 (福島市立笹谷小学校出身)

